

## 礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

## セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

# デーヴォ ガイド



**2024.11.11-17**

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

## L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。



69:13 しかし私は【主】よあなたに祈りませぬ。神よみこころの時にあなたの豊かな恵みにより御救いのまことをもって私に答えてください。

69:14 私を泥沼から救い出し沈まないようにしてください。私を憎む者どもから大水の底から救い出してください。

69:15 奔流が私を押し流さず深い淵が私を?み込まず穴が私の上で口を閉じないようにしてください。

69:16 【主】よ私に答えてください。いつくしみ深いあなたの恵みのゆえに。あなたのあわれみの豊かさにしたがって私に御顔を向けてください。

69:17 あなたのしもべに御顔を隠さないでください。私は苦しんでいます。早く私に答えてください。

69:18 私のたましいに近づきこれを贖ってください。そうして私の敵から私を贖い出してください。

69:19 あなたはよくご存じです。私への嘲りと恥と恥辱とを。私に敵する者はみなあなたの御前にいます。

69:20 嘲りが私の心を打ち砕き私はひどく病んでいます。私が同情を求めてもそれはなく慰める者たちを求めても見つけられません。

69:21 彼らは私の食べ物の代わりに毒を与え私が渴いたときには酔を飲ませました。

69:22 彼らの前の食卓は糞となり栄えるときに落とし穴となりますように。

69:23 彼らの目が暗くなり見えなくなりませぬように。その腰がいつもよろけますように。

69:24 あなたの憤りを彼らの上に注いでくだ

さい。燃える怒りを彼らに追いつかせてください。

69:25 彼らの宿営が荒れ果てその天幕から住む者が絶えますように。

69:26 彼らはあなたが打たれた者を迫害しあなたに刺し貫かれた者の痛みを言いふらします。

69:27 どうか彼らの咎に咎を加え彼らをあなたの義のうちに入れなさい。

69:28 彼らがいのちの書から消し去られますように。正しい者と並べて彼らが書き記されることがありませんように。

22節からは敵への勝利が宣言され祈願されていますが、その信仰へと導かれたのは、先の忍罪ととりなし、そしてこの箇所にある祈りです。ただしダビデは神様の前に聞き分けの良い祈りをしたわけではありません。「あなたの恵はまことに深い」と宣言した後にも、「嘲が私の心を打ち砕き、私は、ひどく病んでいます。」と訴えています。

私たちの祈りもこのようなものではないでしょうか。信仰が与えられて心が勝利したと思っても、またしばらくすると、希望が感じられなく落ち込んでしまうのです。ダビデはその繰り返しのような中でも、あくまでも主に訴え続けました。ここに信仰があるのです。

そしてそれこそが主との交わりの恵であり、本当の賛美へのプロセスなのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## ➤ 12日 火曜

### 詩篇



69:29 私は苦しんで痛みの中にいます。神よ御救いが私を高く上げますように。  
69:30 歌をもって私は神の御名をほめたたえ感謝をもって私は神をあがめます。  
69:31 それは雄牛にまさって【主】に喜ばれます。角が生えひづめが割れた若い牛にまさって。  
69:32 心の貧しい者たちよ見て喜べ。神を求める者たちよあなたがたの心を生かせ。  
69:33 【主】は貧しい者に耳を傾け捕らわれたご自分の民を蔑まれない。  
69:34 天地よ主をほめたたえよ。海とそこにごめくすべてのものも。  
69:35 まことに神はシオンを救いユダの町々を建て直される。彼らはそこに住みそこを自分たちの所有とする。  
69:36 主のしもべたちの子孫はその地を受け継ぎ御名を愛する者たちはそこに住む。

28節まではダビデの祈りはアップダウンのある心のようにでしたが、ここに来て主への信頼と賛美に満たされています。ダビデに信仰が与えられ、実際主は彼を守ってくださったことは周知の通りです。

問題があり解決をいただきたいときは、納得できるまで、勝利の確信が与えられるまで、主の最善が分るで祈りましょう。主は必ず答えてくださいます。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## ➤ 13日 水曜

### 詩篇



<70> シガヨンの歌。ダビデによる。ベニヤミン人クシュのことについて【主】に歌ったもの。

70:1 神よ私を救い出してください。【主】よ急いで私を助けに来てください。

70:2 私のいのちを求める者たちが恥を見辱められますように。私のわざわいを喜ぶ者たちが退き卑しめられますように。

70:3 「あはは」とあざ笑う者たちが恥をかい立ち去りますように。

70:4 あなたを慕い求める人たちがみなあなたにあつて楽しみ喜ぶますように。あなたの救いを愛する人たちが「神は大いなる方」といつも言いますように。

70:5 私は苦しむ者貧しい者です。神よ私のところに急いでください。あなたは私の助け私を救い出す方。【主】よ遅れないでください。

同じ詩篇の 40 篇に以下のように歌われています。

40:13 【主】よみころによって私を救い出してください。【主】よ急いで私を助けてください。

40:14 私のいのちを求め滅ぼそうとする者たちがごとく恥を見辱められますように。私のわざわいを喜ぶ者たちが退き卑しめられますように。

40:15 私を「あはは」とあざ笑う者どもが自らの恥に?然としますように。

40:16 あなたを慕い求める人たちがみなあなたにあつて楽しみ喜ぶますように。あなたの救いを愛する人たちが「【主】は大いなる方」といつも言いますように。

40:17 私は苦しむ者貧しい者です。主が私を顧みてくださいますように。あなたは私の助け私を救い出す方。わが神よ遅れないでください。

この 70 編とほぼ同じ歌です。おそらく主の祈りのように、ここだけ抜粋して礼拝の中で歌われたのだと推測されます。

このように同じ歌が何度も歌われていたと思われませんが、それはイスラエルの民にとって大きな力となったことでしょう。どんな時にも力となる賛美が与えられるなら感謝です。そのような力は常に主に向けて主に歌う人にこそ、与えられるのではないのでしょうか。

①神のみころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあつて何を実践しますか？



## ➤ 14日 木曜

### 詩篇



が恥辱と恥でおおわれますように。

71:1 【主】よ私はあなたに身を避けています。私が決して恥を見ないようにしてください。

71:2 あなたの義によって私を救い助け出してください。あなたの耳を私に傾け私をお救いください。

71:3 私の避け所の岩となってください。いつでもそこに入れるように。あなたは私の救いを定められました。あなたは私の巖私の砦なのです。

71:4 わが神よ私を悪者の手から助け出してください。不正を行う者や残虐な者の手から。

71:5 【神】である主よあなたは私の望み若い日からの拠り所。

71:6 私は生まれたときからあなたに抱かれています。あなたは私を母の胎から取り上げた方。私はいつもあなたを賛美しています。

71:7 私は多くの人にとって奇跡と思われました。あなたが私の力強い避け所だからです。

71:8 私の口にはあなたへの賛美があなたの栄えが絶えず満ちています。

71:9 年老いたときも私を見放さないでください。私の力が衰え果てても見捨てないでください。

71:10 私の敵は私のことを相談し私のいのちを狙う者がともに企みます。

71:11 彼らは言っています。「神は彼を見捨てたのだ。追いかけて彼を捕らえよ。救い出す者はいないから。」

71:12 神よ私から遠く離れないでください。わが神よ急いで私を助けてください。

71:13 私をなじる者どもが恥を見て消え失せますように。私を痛めつけようとする者ども

苦難のときに主に祈り求めましょう。それは人生の中で必要不可欠な祈りです。どのように祈るかをここで学ぶことができます。

まずは「あなたに身を避けています。」と、自分自身が主に頼っているというところから始めましょう。そして助けを祈り求めますが、その時に信頼が必要です。「生まれたときから」神様に抱かれているという安心、「年老いたときも」助けていただくという信頼、つまり人生すべてに主を信じて頼ることを告白しましょう。

そうすれば敵が「神が彼を見捨てた」と、勝手なことを言っても動じなくなるでしょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 15日 金曜

### 詩篇



71:14 しかし私は絶えずあなたを待ち望み  
いよいよ切にあなたを賛美します。

71:15 私の口は絶えず語り告げます。あなた  
の義と救いとを。そのすべてを私は知っており  
ませんが。

71:16 【神】である主よ私はあなたの力とと  
もに行きます。あなたのただあなたの義だけ  
を心に留めて。

71:17 神よあなたは私の若いころから私を教  
えてくださいました。私は今なおあなたの奇  
しいみわざを告げ知らせています。

71:18 年老いて白髪頭になったとしても神よ  
私を捨てないでください。私はなおも告げ知  
らせませす。あなたの力を世に。あなたの大能  
のみわざを後に来るすべての者に。

71:19 神よあなたの義は天にまで届きます。  
あなたは大きいなることをなさいました。神よ  
だれがあなたのでしょうか。

71:20 あなたは私を多くの苦難とわざわいと  
にあわせられましたが私を再び生き返らせ地  
の深みから再び引き上げてくださいます。

71:21 あなたが私の偉大さを増し振り向いて  
私を慰めてくださいますように。

71:22 私もまた琴であなたをほめたたえます。  
わが神よあなたの真実を。私は竖琴に合わせて  
あなたにほめ歌を歌います。イスラエルの  
聖なる方よ。

71:23 私があなたにほめ歌を歌うとき私の唇  
は高らかに歌います。あなたが贖い出された  
私のたましいも。

71:24 私の舌も絶えずあなたの義を告げます。  
私のわざわいを求める者どもが恥を見て屈辱  
を受けるからです。

詩人が苦しい出来後の中で、主に助けを求めて祈っています。その祈りは信頼の祈りであり、信仰の祈りですから主の御手を動かすことでしょうか。どこが信仰の祈りであるかということ、主の力強さ、義なる正しさ、そして助けてくださる憐みを宣言しているからです。

主に祈り求める時は、苦しさばかり強調するのではなく、主の力強さと愛を告白して信頼を宣言することです。さらにそれは人との会話や思索の中にも表れます。分かち合いのときも、苦しさを強調するよりも、主のすばらしさと信頼を強調しましょう。それが信仰の祈りと勝利につながる近道です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## ➤ 16日 土曜

### 詩篇



<ソロモンのために。>

72:1 神よあなたのさばきを王にあなたの義を王の子に与えてください。  
72:2 彼が義をもってあなたの民をさばきますように。公正をもってあなたの苦しむ民を。  
72:3 山も丘も義によって民に平和をもたらしますように。  
72:4 王が民の苦しむ者たちを弁護し貧しい者の子らを救い虐げる者どもを打ち砕きますように。  
72:5 彼らが日と月の続くかぎり代々にわたってあなたを恐れますように。  
72:6 王は牧草地に降る雨のように地を潤す夕立のように下って来ます。  
72:7 彼の代に正しい者が栄え月がなくなるときまでも豊かな平和がありますように。  
72:8 海から海に至るまで川から地の果てに至るまで王が統べ治めますように。  
72:9 砂漠の民は王の前に膝をつき王の敵はちりをなめますように。  
72:10 タルシシュと島々の王たちは貢ぎを納めシェバとセバの王たちは贈り物を献げます。  
72:11 こうしてすべての王が彼にひれ伏すすべての国々が彼に仕えるでしょう。

ソロモンの親であるダビデか、またはソロモン王を信頼する家臣が歌ったものと思われます。旧約聖書にはイエス様のことをひな型で表している箇所があります。当時は王のことを歌っていても、神様がイエス様のことを表すためにこの聖句が残されたのだと、後の時代に分かったのです。この詩篇も同じで、実はイエス様のことが表されているのだと分か

ります。

義、公正、平和などなど…。私たちも、ここに歌われているように、主のすばらしい統治を喜ぶものでありましょう。世にあっては患難がありますが、それでも主の全能の力は最後に権威を持って治められるだと、信頼して平安を頂きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## ➤ 17日 日曜

### 詩篇



72:12 それは王が叫び求める貧しい者や助ける人のない苦しむ者を救い出すからです。  
72:13 王は弱い者や貧しい者をあわれみ貧しい者たちのいのちを救います。  
72:14 虐げと暴虐から王は彼らのいのちを贖います。王の目には彼らの血は尊いのです。  
72:15 どうか王が生き続け彼にシェバの黄金が献げられますように。王のためにいつも彼らが祈り絶えず王をほめたたえますように。  
72:16 大地には穀物が豊かにあり山々の頂では実がレバノンのようにたわわに揺れ町の人々は地の草花のように咲き誇りますように。  
72:17 王の名がとこしえに続きその名が日の照るかぎり増え広がりますように。人々が彼によって祝福されすべての国々が彼をほめたたえますように。  
72:18 ほむべきかな神である【主】イスラエルの神。ただひとり奇しいみわざを行われる方。  
72:19 とこしえにほむべきかなその栄光の御名。その栄光が全地に満ちあふれますように。アーメン、アーメン。  
72:20 エッサイの子ダビデの祈りは終わった。

ソロモン王は結婚の問題や偶像への妥協などがあり、完全な王ではありませんでした。ここに歌われているのはあくまでも理想像であって、ソロモンへの信頼を通して、主イエスへの信頼が表現されていると後代に分かったものです。

私たちはここにイエス様のすばらしい権威を見ることができます。その権威は単に強いだけではなく、弱い物への愛情が溢れる権威です。ですから主イエスの支配は永遠に続くことが望まれるのです。

さらに私たちはこの世においても、権威の在り方を知ることができるでしょう。それは理想に過ぎな

くても、理想に近づくことはできます。クリスチャンも何らかの権威を持つことがありますが、イエス様の権威が求められる姿です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

